

◆ テーマ
生き物・植物とのかかわり

◆ テーマの設定理由

- 本園は土の園庭であり、畑や花壇、様々な木など自然が多いという環境を活かして、自然とのかかわりや外遊びを充実させたいと考えた。
- 子ども達は虫取りに興味をもって遊んでおり、より多くの虫を園に呼び込むにはどのようにしたら良いかを考えることにした。

◆ 活動スケジュール
➤ 生き物とのかかわり

内容	時間/回	人数/回
① 【5月1日】年長児との相談『幼稚園にどんな生き物が来てほしい?』	30分間程度	22人
② 蝶がくる花壇づくり 【5月23日】 有志のお母さん達による “花壇の土耕し” 【5月30日】 苗植え 【6月7日】 苗のネームプレート作り	(2時間程度) 30分間程度 20分程度	 約10人 約10人
③ 花壇・畑探索(年少児)	30分程度	15人



植物への興味

➤ 植物を取り入れた遊び

④	【通年】雑草等でままごと ↓ ⑤【11月5日】 遊びに使える植物の花壇づくり 【11月7日】 花壇に苗植え・種まき	1時間程度 20分間程度	各5、6人 約20人
⑥	【通年】草花で色水遊び・染め紙遊び ↓ ⑦【11月26日】 草木染め(玉ねぎの皮) 【12月4日】 草木染め(枇杷の葉/桜の葉)	1時間程度 3時間程度 3時間程度	各5~10人 全園児 約40人

◆ 探究活動の実践～活動の内容～

➤ 生き物とのかかわり

①【5月1日】年長児との相談『幼稚園にどんな生き物が来てほしい?』



Q.例えば、色々な蝶を幼稚園によぶには、どんなことをしたらいいかな?

子ども「お花を育てる。」「遊具じゃないところにお花を植えたらいい。」

「蝶をよぶには、芋虫がきてくれないと…葉っぱがたくさん必要だね。」

⇒蝶がくるために色々なお花も育ててみよう!

②蝶がくる花壇づくり（対象：年長児）

- 【5月23日】有志のお母さん達による“花壇の土耕し”



5月1日の話し合いを踏まえ、畑の外周部と職員室前の花壇に新しい花の苗を植えるために、土を耕してもらった。

- 【5月30日】苗植え

*準備したもの：お花の苗（エキナセア・ジニア等）／シャベル
お母さん達が耕してくれた花壇に蝶が好む花の苗を植えた。



- 【6月7日】苗のネームプレート作り

*準備したもの：画用紙／マジック／スプーン／セロテープ

お花の色に合わせた画用紙に平仮名で名前を年長児が書いた。



③花壇・畑探索（年少児）



「きゅうりのトンネル!」

蝶がお花に止まっているのを見て、「紫のお花とピンクのお花が好きなのかな？」



- 植物を取り入れた遊び

*準備したもの：ペットボトル／すり鉢／すりこぎ（割り箸）／漏斗／カップ
図鑑／ビニール袋／園庭用小机／レジャーシート
カゴに入れた園庭用ままと道具（お皿やコップ等）

- ④【通年】雑草等でままと（対象：主に年少児）



ヒイラギの実を使って
「グリーンピースごはんですよ。」

剪定したヤツデの葉をサッカーゴールの上部に乗せて屋根に。
「涼しくて気持ちいい。」



落ち葉を魚に見立てて魚釣りごっこ。
タイヤをコンロにし、釣った魚を焼いて遊ぶ姿も。



⑤【11月5日】遊びに使える植物の花壇づくり

植物を取り入れた遊びが盛り上がってきたので、遊びに使える植物を増やすために、花壇を業者の方に作ってもらった。

【11月7日】花壇に苗植え・種まき

*準備したもの：お花の苗/シャベル



ジュズダマ、香りに特徴のあるハーブ（レモンマートル、チェリーセイジ等）の苗を植えたり、シロツメクサの種を子どもと一緒に蒔いたりした。

⑥【通年】草花で色水遊び・染め紙遊び

*準備したもの：すり鉢/すりこぎ/障子紙/筆/カップ/紐/洗濯ばさみ

オシロイバナの葉で緑の色水を作った子の隣で、「茶色にしたいの…」と、どう作るか思案する子が。考えた結果、砂を入れてすりつぶすことに。



1月。園庭に落ちていたサザンカの花びらで色水遊び。「ピンクのジュースを作るんだ！」と作り始めたものの、花びらの性質上、色は殆ど出ず「なんでだろう？」と不思議そう。



9月。ヨウシュヤマゴボウの実や葉で染め紙遊び。作った色水と筆で絵を描いたり、保育者が染め紙の方法を伝え、濃い色水を作って染め紙遊びも。

⑦草木染め

*準備したもの：玉ねぎの皮/枇杷の葉/桜の葉/ミョウバン/石灰乾燥剤/ビー玉/輪ゴム/バッグ/布/割り箸/鍋/トング

【11月26日】草木染め（玉ねぎの皮）

全園児でカレーライスを作った際に出た玉ねぎの皮を使って染め物をした。



前日に作った染め液「コーラみたいな色。泡もあるしね。」

模様作り



保育者「こんな色に染まってきたよ！」

各クラス1枚ずつ染めたバッグ



「またやりたい！」という声もあがったので、「染め紙と同じで、葉っぱでも染められるんだよ。」と保育者が提案し、2回目の染め物をする事になった。

【12月4日】草木染め（枇杷の葉／桜の葉）

幼稚園の畑にある「枇杷の葉」と「桜の葉」で草木染め。

今回は、染めたい子が一人1枚ガーゼを染めた。



模様作り

割り箸やビー玉、輪ゴムで模様作り。
年少児に難しいところは、年長児が優しく
教えてくれた。

（枇杷と桜）それぞれどんな色になると思
う？

⇒「玉ねぎが茶色だったから、茶色！」

「葉っぱは緑だから、緑！」



いざ、茶色の染め液に浸すとピンク色に。
「えー！茶色（の液）だったのに！」
「桜の花がピンクだからかな？」
「枇杷の実がピンクじゃないのに何
で!？」



枇杷

桜



振り返り・保育者の気づき

- ・園庭で使えるままごと道具を用意したことで、年間を通して自然物を取り入れて遊ぶ姿が見られた。また、机や凶鑑、色水遊びの道具、季節によって遊ぶ道具や素材などを用意したことで遊びや関心が広がり、園全体の外遊びが活発になった。
- ・色々な学年が交ざりあう園庭で遊ぶことが増えたので、上の学年の子が遊んでいる姿を見て、自然に下の学年の子も興味がそそられ、遊びが伝播する場面がたくさんあった。
- ・自然のものは季節によって変化していくので、一つの遊び（例：色水あそび）でも結果が違うことに驚いていたり、不思議に思っていたりという姿があった。遊びの深まりが見られた。
（例）色水あそび：ヨウシュヤマゴボウは綺麗に紫色がでたけれど、サザンカの花びらはピンクなのに色水としては色が出ない。
- ・蝶がくる花壇を作ってから、実際に色々な種類の蝶が飛来したので、子ども達も虫取りを積極的にした。蝶の卵や幼虫、また、蝶以外の虫への関心も広がり、それらの虫や幼虫等を飼育するクラスも増えた。その結果、虫に元々興味がある子だけでなく、色々な子が触れ合う機会にもなった。